**研究発表会**

**大雪山国立公園の利用者とエゾナキウサギの良好な関係の構築のための自然・社会科学的研究**

主催　北海道大学地球環境科学研究院・福山市立大学　　共催　とかち鹿追ジオパーク推進協議会

日時　2024年3月24日　13:30～16:00

会場　鹿追町民ホール・ミーティング室（２階）

対象　ジオパーク関係者，自然ガイド，ガイド養成講座受講生，ほか関心のある町民の皆様

北海道大学と福山市立大学では，この１年間，ナキウサギの生息地に関わる調査研究を進めてきました。この発表会ではその成果をご報告するとともに，ナキウサギ生息地であるガレ場の自然環境を保全するために今後どのような方策が必要か，参加者の皆様と意見交換をしたいと考えております。

**プログラム**

13:30-13:35　趣旨説明

13:35-14:00　東大雪山系のナキウサギの行動と登山者の関係

渡辺悌二，ファティマ・チャウドハリー，山本健太，王婷，澤田結基

14:00-14:25　東大雪山系のナキウサギ生息地の地形の特徴に関する3次元解析

王 婷，渡辺悌二，澤田結基，早川裕一，ファティマ・チャウドハリー

14:25-14:50　とかち鹿追ジオパークにおける，利用と保全の両立に向けた市民科学導入の可能性：東ヌプカウシヌプリのナキウサギを対象にした事例

山本健太，渡辺悌二

14:50-15:15　十勝岳望岳台におけるナキウサギ生息地の踏み跡の分布とカメラマンへのインタビュー結果

倉田ひかる，藤原佑委香，澤田結基

＝休憩＝

15:30-16:00　総合討論

岩の上にいる

中程度の精度で自動的に生成された説明